

- ◎ 農山漁村の案内に役立つ [便利帳] (北海道農政部)
- ◎ 地域を応援するマンスリーレター (北海道経済部)
 - ・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について
- ◎ 活動支援情報 (花と緑のネットワーク)

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ 広報誌「開発こうほう」7月号の掲載情報

(一財) 北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号掲載され、7月号では第11回コンクールで奨励賞を受賞した「株式会社 地恵贈」(池田町)が紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は(一財)北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しくー北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「株式会社 地恵贈」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa0000019psc.pdf

【わが村コラム(No.68)】

今回ご紹介するのは、「釧路みなとオアシス協議会 おもてなし部会(旧 釧路港おもてなし倶楽部)」(第5回コンクール応募団体)の『クルーズ船おもてなし活動』です。

「釧路みなとオアシス協議会」では、クルーズ船寄港時のおもてなしを通じて、地域に新たな賑わいを生み出すとともに、地域住民と来訪者との交流促進、さらには地域の魅力向上につながる取組を行っています。

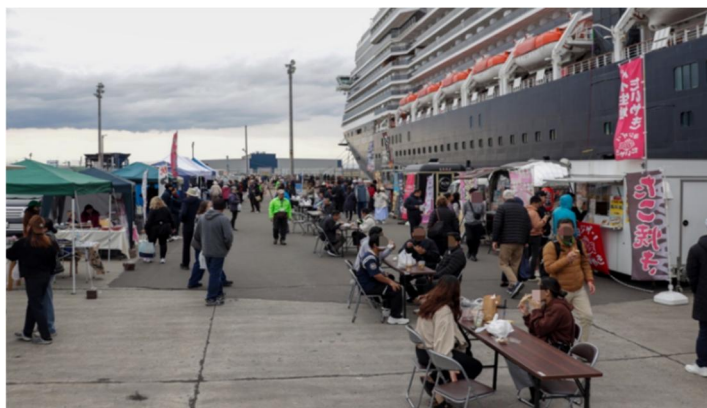
クルーズ船の入港時には、岸壁に歓迎の横断幕を掲げて、乗客の皆さんをお迎えするとともに、地元で水揚げされた海産物の味噌汁を無料提供するなど、到着したその瞬間から釧路ならではの味や雰囲気を楽しめます。



また、出港時には蝦夷太鼓の演奏やアイヌ舞踊など、地域に根ざした文化を取り入れたセレモニーが行われ、旅の最後を彩る見送りの時間が用意されています。来訪者にとっては短い滞在時間でも釧路の魅力凝縮して体験でき、受入れ側にとっても販路拡大や収益機会の創出につながるなど、双方にとって意義のある取組となっています。

私も何度か現地を訪れましたが、港周辺では地元特産品や加工品の販売ブース、軽食を提供するキッチンカーが出店していて、港一帯がにぎわいに満ちた空間となっており、来訪者を歓迎するようなあたたかな雰囲気を感じました。

さらに、クルーズ船のデッキから笑顔で手を振る姿や、景色やおもてなしの様子をカメラに収める来訪者の様子が見られ、おもてなしの想いがしっかりと届いていることを感じることができました。



そして出港の時には、釧路特有の美しい夕日が港全体を包み込み、音楽や拍手、踊りと相まって、旅の締めくくりにふさわしい情景が広がっていました。

こうした取組は、言葉の壁を越えて来訪者の心に残り、釧路の歴史や文化への理解や関心を深めるとともに、再訪のきっかけとなるほか、観光振興にとどまらず地域経済の活性化や文化の発信にもつながる重要な活動となっていると感じました。

ホームページではクルーズ客船の入港情報が確認できますので、ぜひ一度足を運んで、この温かいおもてなしを体験してみたいはいかがでしょうか。



【釧路市HP】 <https://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/umisora/1006541/1006592/index.html>

【おもてなし部会HP】 <https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/kushiro/club/index.html>

【わが村団体活動情報】

◎『旧上藻別駅通（きゅうかみもべつえきてい）』が満100歳を迎えました！（紋別市）

<わが村団体名：上藻別駅通保存会>



上藻別駅通保存会では、紋別市上藻別にある『旧上藻別駅通』の建物を2005年に修復し、かつて東洋一の産金量を誇った鴻之舞（こうのまい）鉱山の歴史を伝える資料館として再生させました。



この旧上藻別駅通所は今年の6月1日で100周年を迎えました。毎年全国から多くの観光客が訪れており、現在も一般公開を行っています。

館内には、当時の暮らしを伝える写真や生活雑貨、鴻之舞鉱山の鉱石などを展示していますので、是非この機会にお越しください！

※駅通（えきてい）とは、北海道開拓時代の明治から大正にかけて、交通の不便な地域に設置された北海道独自の施設です。宿泊所や郵便の取り扱い、さらには現在の道の駅のような機能を併せ持っていました。上藻別駅通所は、馬の貸し出しも行われており、当時の交通を支える重要な役割を担い、その後は旅館や住宅として使われ、鴻之舞で暮らす人たちの生活を支えてきました。



【公開期間】 4月末～11月末まで（月曜日休館）

【開館時間】 9：30～15：30

【場 所】 旧上藻別駅通所（紋別市上藻別297番地1）

【お問合せ】 TEL：0158-26-5100

【HP（上藻別駅通所保存会）】 <https://kounomai-ekitei.jimdofree.com/>

◎『フラワーロード』のユリ植え付け完了、見頃は8月中旬です！（真狩村）

<わが村団体名：村づくり研究会>

真狩村の村民有志でつくる「村づくり研究会」では、全国有数の産地として知られる食用ゆり根のPRを兼ねて、村を訪れる人々を特産品の花ユリで歓迎しようと、真狩村と留寿都村を結ぶ道道66号線沿い、通称『フラワーロード』沿いで、毎年、ユリの植え付けを行っています。



今年は6月7日（日）に、村内外から集まった約70人の手によって、ユリの球根約3万個が植え付けられ、参加した方々は爽やかな汗を流しました。

そんな「村づくり研究会」によるフラワーロードの植栽活動は、1994年から今年で33回目を迎え、大規模な植栽は今回が1つの節目となります。8月上旬から黄色い花が咲き始め、8月中旬には見頃を迎える『フラワーロード』のユリの花は、村を代表する夏の風物詩ですが、今年で見納めとなりますので、是非お立ち寄りください。



【場 所】フラワーロード（真狩村字光（道道66号 岩内洞爺線沿い））

【関係SNS（Facebook）】<https://www.facebook.com/makkarimuraken/>

◎『かぼちゃの苗植え体験学習』を実施しました！（苫前町）

<わが村団体名：上田ファーム株式会社>



6月4日（木）、苫前町内の上田ファーム（株）の圃場にて、苫前商業高校2年生23名を対象に『かぼちゃの苗植え体験学習』を実施しました。この取り組みは、地域について学ぶ「とままえ学」の授業の一環として行われたもので、今回は約2,400株の苗を植えました。



上田代表から、かぼちゃの種類や植え方について丁寧な説明を受けた後、作業がスタートしました。

植えた品種は、きめ細かく加工に向いている「ロロン」と、甘みが強く栗のような味わいの「栗将軍」の2種類です。

生徒たちは2～3人のチームに分かれ、1人あたり約100株を担当。初めての体験に「楽しい！」という声も多く聞かれました。中には、町内の農園でアルバイト経験のある頼もしい生徒もおり、当日は暑い中での作業となりましたが、こまめに休憩を取りながら、声を掛け合い協力して植え進めていました。



最後に上田代表から、「大変だけど、手間をかけた分だけ美味しく育つ。この体験が将来の仕事選びのきっかけになれば嬉しい」とのメッセージが送られ、秋の収穫を楽しみに体験学習を終えました。



◎『田植え体験学習』を実施しました！（留萌市）

<わが村団体名：留萌市食農教育推進協議会>

6月10日（水）、留萌市幌糠にて留萌市内4校の小学5年生を対象に『田植え体験学習』を実施し、児童73名が参加しました！

はじめに佐藤会長から、お米の種類や田植えの方法について説明があり、児童たちは真剣に耳を傾けていました。



いよいよ田植えがスタートすると、子どもたちは初めての田んぼの感触にびっくり！泥に足を取られ、転んでしまう子もいましたが、笑顔いっぱい楽しみながら一生懸命に苗を植えていました。

田植え後の質問コーナーでは、「お米の種類はどのくらいあるの？」「育てるのに大変なことは？」

「どんな機械を使っているの？」など、たくさんの質問が寄せられ、食や農業への関心の高さが感じられる充実した学びの時間となりました。

最後は、留萌管内産米のPR活動を行う「るもい米普及戦隊コメファイター-NEO」に見送られながら、秋の稲刈りを楽しみに体験学習を終えました！



【お知らせ】

◎「ディスカバー農山漁村（むら）の宝 AWARD」 第13回選定エントリー募集中！

（農林水産省農村振興局）

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。

選定された地区には、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」特設ホームページでの活動紹介等を通じて、全国的な情報発信を行います。

「わが村は美しく－北海道」運動の参加団体もこれまでに数多く選定されており、第12回では「特定非営利活動法人 ゆめみ〜る」（登別市）が選定されています。



応募受付中

応募はこちら

農林水産省では、農山漁村の資源を活用した地域の活性化に向けて取り組んでいる個人や団体を募集しています。ご応募いただいた中から特に優れた取組については選定証を授与するほか、特設Webサイトやイベントなどを通じて全国に広く発信しています。キラリと光り輝く「あなたの村」産物の宝、を教えてください！

募集期間 令和8年6月15日(月)～8月31日(月)

お問い合わせ先 農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村計画課 農村活性化推進室
〒100-8996 東京都千代田区中央1-2-1 電話 03-3502-1007

「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ
▶ <https://www.discovermurakarakara.com>

過去の選定事例はこちら
▶ <https://www.discovermurakarakara.com/soniti/select-map.php>

【募集期間】 令和8年6月15日（月）～令和8年8月31日（月）

【お問合せ】 農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課農村政策推進室

TEL（代表）：03-3502-8111（内線5449）

ダイヤルイン：03-3502-6001

※ 応募方法など詳細は↓こちらよりご確認ください。

【H P】 <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/260615.html>

【活動支援メニュー】

○令和8年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和8年度（後期）の助成募集を開始する予定です。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆様に応援しています。

【助成募集期間（R8後期）】令和8年7月上旬～令和8年12月末まで

【助成額】1団体当たり1件、10万円を限度として選考により予算の範囲内で助成

【HP】 <http://wagamura-net.jp/>

○令和8年度 まちづくり推進活動支援事業（公益財団法人 北海道地域活動振興協会）

公益財団法人 北海道地域活動振興協会では、活力のあるまちづくり活動の振興を図るため、行政とのパートナーシップにより、新しい時代に相応しいネットワークづくりをめざした活動を対象に助成を行っており、現在、令和8年度の支援事業について募集を行っています。

道内で地域活性化に係わる地域活動などを1年以上継続して実施している団体が対象です。

助成対象となる団体や取組などの詳細については、当法人のHPによりご確認ください。

【募集期間】令和8年6月18日（木）～令和8年7月31日（金）まで

【助成額】1件につき25万円を限度とし、助成件数は14団体程度とする。

【HP】 <https://www.fureaizaidan.or.jp/>

○農山漁村の案内に役立つ [便利帳] (北海道農政部)

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取組を積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する [便利帳] を作成しています。詳細は、北海道農政部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター (北海道経済部)

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々を応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】 (R8年度開催予定分 テスト販売期間：第3四半期 (R8年10月～12月))

令和8年7月1日(水) ～ 令和8年8月10日(月)

【お問合せ】 北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

夏が近づき、過ごしやすい季節になってきました。

そんな中、先日、一年ぶりの人間ドックを受けたのですが、思わぬ変化に驚きました。この一年、毎朝いちばんにレモン水（レモン汁（市販）大さじ2程度、水か炭酸水200ccくらい）を飲み続けてきたところ、2年連続で上130以上・下90くらいだった血圧が、上105・下75くらいまで下がり、標準値となっていたのです。（ちなみに毎日のアルコール摂取量に変化はないです）

レモンに血圧を下げる効果があると聞いたことはありますが、自分にとっても良い習慣になっていることは確かなようです。

小さな積み重ねの大切さを感じながら、これからも続けていこうと思います。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎14階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

（配信希望の方は、所属先（所在地）、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください）

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。

※写真の掲載にあたっては、事前に許可を得ております。
